

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 大西電気株式会社

コード番号 3095 URL <http://www.ohnishidenki.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大西 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 多田 敏洋

TEL 075-693-5231

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,893	△17.2	131	△41.4	127	△48.3	116	△20.3
21年3月期第1四半期	3,495	—	224	—	246	—	146	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	52.59	52.56
21年3月期第1四半期	67.33	66.25

(注) 当社は、平成20年2月26日付でジャスダック証券取引所に上場しているため、平成21年3月期第1四半期に係る対前年同四半期増減率については記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	5,886	2,676	45.5	1,203.93
21年3月期	5,897	2,646	44.9	1,190.52

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,676百万円 21年3月期 2,646百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	20.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	6,363	△10.7	342	△25.3	345	△27.5	212	△23.0	95.61
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	2,223,500株	21年3月期	2,223,500株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	120株	21年3月期	120株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	2,223,380株	21年3月期第1四半期	2,179,071株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。業績予想等の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(2) 当社は平成21年1月30日開催の取締役会において、高千穂電気株式会社を合併存続会社、当社を合併消滅会社とする吸収合併を平成21年10月1日をもって行うことを決議し、合併契約書を締結いたしました。また、その後同合併契約は、平成21年6月19日開催の高千穂電気株式会社の第63期定時株主総会及び平成21年6月26日開催の当社の第51期定時株主総会において承認されました。合併後の状況とエレクトロニクス業界の動向においては不確定要素が多く、業績予想の数値を算出することは困難であるため平成22年3月期の業績予想等につきましては一部掲載を差し控させていただきます。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気の基調に下げ止まり感が出て改善の兆しが見られるものの、世界的金融危機の影響はいまだ尾を引いています。特に雇用情勢の悪化や個人消費の冷え込みの影響は大きく、国内の景気は先行き不透明で好転の兆しが見えない状況が続いております。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、先行きの景況感が不透明の中、出荷予定数の減少見込みにより生産調整が行われ、設備投資・生産とも減少しております。

このような状況のもと、当社グループは、魅力ある新商品の開拓や営業活動をグローバルに展開し、ゲーム機、ノートパソコン用電池部材、薄型テレビ、フラットパネルディスプレイ製造装置、半導体製造装置、医療機器、RFID等の分野を中心として拡販活動に取り組みました。

## (1) 売上高

当第1四半期連結累計期間の売上高は28億93百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。また品目別売上高は下記のようになりました。なお当社グループは、単一事業であり事業の種類別セグメントを作成しておりませんので、商品の品目別の売上高を記載しております。

- ・電気材料につきましては、据え置き型ゲーム機及びその関連機器、携帯ゲーム機に使用される関連材料の販売が堅調に推移しましたが、汎用のテープ類の売上が減少しました。その結果、売上高は10億67百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。
- ・電気部品につきましては、ゲーム機関連部品、その他各種電気機器向けコネクタの販売が堅調に推移しました。その結果、売上高は11億75百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。
- ・電気モジュールにつきましては、半導体製造装置用長尺フレキシブル基板等の売上が落ち込みました。その結果、売上高は3億79百万円（前年同四半期比44.7%減）となりました。
- ・フラットパネルディスプレイ関連材料・部品につきましては、従来の主力顧客一社が部品の自家調達を停止したため、受注が減少しました。その結果、売上高は1億64百万円（前年同四半期比21.5%減）となりました。
- ・無線周辺機器関連材料・部品につきましては、RFID部品の主力顧客の生産調整の影響を受け、受注が減少しました。その結果、売上高は44百万円（前年同四半期比38.1%減）となりました。
- ・その他、工場内で使用される静電気対策製品や安全衛生関連製品等を販売しましたが全般的に受注が減少しました。その結果、売上高は61百万円（前年同四半期比45.8%減）となりました。

## (2) 営業利益

人件費及びその他営業に係る費用の発生等により販売費及び一般管理費が3億7百万円（前年同四半期比11.1%減）となったため、営業利益は1億31百万円（前年同四半期比41.4%減）となりました。

## (3) 経常利益

受取配当金等の計上により営業外収益が2百万円（前年同四半期比87.5%減）となり、為替差損等の計上により営業外費用が7百万円（前年同四半期比473.2%増）となったため、経常利益は1億27百万円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

## (4) 四半期純利益

投資有価証券売却益等の計上により特別利益が57百万円となり、法人税、住民税及び事業税を46百万円計上したこと等により、四半期純利益は1億16百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。

(注) RFID: 微小な無線半導体集積回路により人やモノを識別・管理する技術。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、51億76百万円となりました。これは、現金及び預金が1億97百万円増加したものの、未収入金が2億2百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、7億10百万円となりました。これは、投資有価証券が時価評価替えの影響等により34百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、58億86百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、29億67百万円となりました。これは、買掛金が2億48百万円増加したものの、未払法人税等が1億25百万円、役員賞与引当金が69百万円、未払金が54百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、2億42百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が4百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、32億10百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、26億76百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が31百万円増加したことなどによります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

本連結会計年度におけるエレクトロニクス業界におきましては、引き続き生産調整局面にある企業が多いものの、家電機器、通信機器、産業機器、輸送機器、医療機器、エネルギー及び環境関連機器等の各分野において、生産増加・成長が見込まれる企業が見受けられます。

特にユビキタス社会としての注目を集めているRFID技術は、一般生活において、カードや携帯電話に内蔵することでますます身近な存在となっており、また、企業においても在庫管理や各種物品管理等で利用頻度が高まっております。

また、二次電池市場においては、その他エレクトロニクス機器関連に比べ堅調に推移しており、携帯電話やノートPC等の携帯機器に加え、電動自転車や自動車産業等での利用が高まっております、今後一層の成長が見込まれます。

このような状況の中、当社グループは引き続きエレクトロニクス関連の材料及び部品をグローバルに提供する電気材料商社として、顧客基盤を拡充し取扱商品とサービスを多様化することでお客様のニーズへの対応力を向上させ、合わせて効率的な経営を行うことで収益の拡大を図ってまいります。

前期に引き続き好調が見込まれる据え置き型ゲーム機、携帯ゲーム機関連材料・部品、また各種電気機器に使用されるプリント基板やワイヤーハーネスなどの販売が堅調に推移すると思われまます。また、今後成長が見込まれるRFID、二次電池用関連材料・部品に注力することで、当社グループの販売増加に寄与するものと見込んでおります。

販売費及び一般管理費におきましては、合併効果を最大限に享受するよう、管理体制を整えるためのシステム整備関連費用等の増加が見込まれます。その結果、平成22年3月期の第2四半期累計期間の連結業績予想は、売上高63億63百万円、営業利益3億42百万円、経常利益3億45百万円、四半期純利益2億12百万円を見込んでおります。

当社は平成21年1月30日開催の取締役会において、高千穂電気株式会社を合併存続会社、当社を合併消滅会社とする吸収合併を平成21年10月1日をもって行うことを決議し、合併契約書を締結いたしました。また、その後同合併契約は、平成21年6月19日開催の高千穂電気株式会社の第63期定時株主総会及び平成21年6月26日開催の当社の第51期定時株主総会において承認されました。合併後の状況とエレクトロニクス業界の動向においては不確定要素が多く、業績予想の数値を算出することは困難であるため平成22年3月期の業績予想等につきましては一部掲載を差し控えさせていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

経過勘定項目の算定方法  
未払費用については、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表)

「四半期連結財務諸表規則による流動資産の区分表示の改正」（金融庁 平成20年8月7日 内閣府令第50号）に基づき、前第1四半期連結累計期間において、「商品」として掲記されたものは、当第1四半期連結累計期間より「商品及び製品」として表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	938,611	741,264
受取手形及び売掛金	2,840,080	2,837,233
商品及び製品	195,738	203,283
未収入金	1,144,024	1,346,085
その他	59,572	82,172
貸倒引当金	△1,429	△1,608
流動資産合計	5,176,598	5,208,432
固定資産		
有形固定資産	195,782	188,859
無形固定資産	34,483	37,899
投資その他の資産		
その他	483,524	465,285
貸倒引当金	△3,572	△3,003
投資その他の資産合計	479,952	462,282
固定資産合計	710,218	689,041
資産合計	5,886,817	5,897,473

（単位：千円）

	当第1四半期連結会計期間末 （平成21年6月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年3月31日）
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,140,415	1,892,022
1年内返済予定の長期借入金	13,140	32,960
未払金	636,944	691,426
未払法人税等	69,671	194,979
賞与引当金	29,785	69,372
役員賞与引当金	—	69,500
その他	77,639	62,078
流動負債合計	2,967,597	3,012,338
固定負債		
退職給付引当金	2,808	2,660
役員退職慰労引当金	239,447	235,303
その他	163	191
固定負債合計	242,419	238,155
負債合計	3,210,016	3,250,493
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	434,807	434,807
資本剰余金	163,227	163,227
利益剰余金	2,053,534	2,047,775
自己株式	△120	△120
株主資本合計	2,651,448	2,645,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,321	25,145
為替換算調整勘定	△30,968	△23,854
評価・換算差額等合計	25,352	1,290
純資産合計	2,676,800	2,646,980
負債純資産合計	5,886,817	5,897,473

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,495,417	2,893,581
売上原価	2,924,482	2,453,961
売上総利益	570,935	439,620
販売費及び一般管理費	346,151	307,785
営業利益	224,783	131,834
営業外収益		
受取利息	384	121
受取配当金	2,726	1,876
為替差益	19,162	—
還付増値税	—	611
その他	729	258
営業外収益合計	23,004	2,868
営業外費用		
支払利息	388	59
株式交付費	898	—
為替差損	—	7,242
その他	—	73
営業外費用合計	1,286	7,375
経常利益	246,501	127,327
特別利益		
保険解約返戻金	—	1,127
投資有価証券売却益	—	56,157
特別利益合計	—	57,285
特別損失		
出資金評価損	3,622	—
特別損失合計	3,622	—
税金等調整前四半期純利益	242,878	184,612
法人税、住民税及び事業税	81,101	46,682
法人税等調整額	15,066	21,003
法人税等合計	96,168	67,685
四半期純利益	146,710	116,927

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）  
該当事項はありません。

6. その他の情報  
特に記載すべき事項はありません。